

29 . 築 170 年の古民家を活用したゲストハウスの事業化支援 (愛媛県内子町)

タイトル	地域おこし協力隊による「古民家を活用したゲストハウス事業化支援」
銀行名	伊予銀行
取組みに至った経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市から移住してきた愛媛県内子町の地域おこし協力隊（山内大輔氏）が、同町の築 170 年の古民家を活用したゲストハウス事業を計画。 ・当行の「ビジネスプランコンテスト 2016」に応募し、「南予活性化賞」を受賞。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスプランコンテストでの受賞後、事業化に向けた事業計画策定や行政等との連携を支援。 ・事業化の目途が立ち、地域おこし協力隊の任期（今年 3 月末）終了後も内子町に定住し、個人創業することが決定。 ・今年 4 月に合同会社アソビ社を設立。資金支援や補助金活用支援、行政等と連携した誘客促進支援を実施予定。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した顧客（特に平日顧客）確保に向けたプロモーション活動。
関連公表資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・「『いよぎんビジネスプランコンテスト 2016』の受賞者が決定！～地域経済の活性化、雇用創出に繋がる 94 件の応募プランの事業化をサポート～」（平成 28 年 11 月 29 日） http://www.iyobank.co.jp/library/new/press/16-295.pdf ・「四国で初めて『地域クラウド交流会』を開催します！～地元の起業家の応援を通じて、地域活性化～」（平成 29 年 1 月 20 日）：第 3 回「えひめ起業家 Innovation（イノベーション）松山 地域クラウド交流会」（同年 4 月 15 日開催） http://www.iyobank.co.jp/library/new/press/17-012.pdf